**（様式１）**

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業

「南部・アインシュタイン　フェローシップ」

「マテリアルイノベーションを通した国際的博士人材育成」

「スマート社会を牽引する共創型X-Care課題解決アーキテクト養成」

**小　論　文　　解答用紙**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | 受験番号 | ※記入しないでください |
| フリガナ | |  | 生年月日 | |
| 氏　名 | |  | 年 　　月　 　日 | |
| 【小論文課題】  自身が応募するフェローシップ事業（量子、マテリアル、スマート社会）が養成したい人物像を理解し、以下の内容を含めて、1500字程度で小論文を作成すること。  １）自身の研究の目的（学術的背景、具体的な目的、特色、独創的な点など）、計画（研究目的を達成するための具体的な研究内容・方法など）を記述すること。その際、自身の専門分野外の研究者にも理解されるよう、記述に注意すること。また、自身の研究が自然科学・科学技術や人・モノ・社会・文化のどのような課題解決に結びつくのか、またその位置づけについて記述すること  2）本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル（※）を身に着けようと考えているか、また、その理由と方法について記述すること  ※ 本事業におけるトランスファラブルスキル：イノベーション人材に必要とされる、独創性や自由な発想、チャレンジ精神、研究ニーズ発掘力、研究マネジメント能力、対話力および人を惹きつけるリーダーシップ等の広く転用・応用可能なスキル  3）博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述すること  ※　次世代研究者支援事業を第2希望及び第3希望として申請する場合は、下記項目も含めて作成  　　 すること。  4）研究成果が、①社会課題の解決、②先導的研究領域の創生、③未来の社会像の創出のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのかを記述すること。また、それを達成するために、どのような複合知が必要と考え、それをどのように習得しようとしているか記述すること。 | | | | |
| 注意： | 本ページは修正せず小論文は2ページ目より記載してください。  用紙の追加、フォーマットの変更はできません。  図表を用いてもかまいません。　文献等を引用する場合は、出典を明示すること。  本文中に業績等を記載する場合、氏名は記載せず、「申請者」と記すこと。 | | | |
|  | | | | |